

希望の鐘

第195号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

自分にとっての今年の、そして来年の漢字は？

振り返ればやはりコロナ。なかでも9月に感染拡大を封じ込めるために実施された「青森県緊急対策パッケージ」のため、市中体秋季大会が中止になったことは、非常に残念でした。あの暑い盛りの夏休みを我慢して、そして熱中症に気をつけて頑張ったのに…。冬の大会は今のところ開催予定です。野球部は我慢ですが、その他の部は秋のうっぶんを晴らすよう頑張ってください。

このような中でもなんとか体育祭、文化祭は実施することができました。体育祭は保護者と生徒の接点を避けるという対策を取りながら、競技を減らすことなく行うことができました。文化祭は1日日程を2日間に分けることで、1、2年生の保護者と3年生の保護者に分け、密を避ける形で行うことができました。コロナ禍にあっても生徒と保護者が一緒になって楽しむことができた行事でした。そしてその企画運営から取り組み方まで、普段から皆さんに話していた「物事に主体的に取り組む」ことが十分に発揮できた行事でした。コロナで制限されながらも、その中で、できることを精一杯行うことができた2学期だったと思います。

さて、先日、今年の漢字が発表されました。「金」です。東京オリンピック、パラリンピックで多くの金メダルを獲得したことや、大リーグでMVP、そして「リアル二刀流」「ショータイム」で流行語大賞を獲得した大谷選手の活躍、また、藤井聡太四冠など、国内外でこれまで成しえなかった多くの「金字塔」が打ち立てられたからだそうです。この「金」が選ばれたのは4回目で、全てオリンピックのあった年でした。ちなみに昨年は3密の「密」、2019年は「令和」の「令」、東日本大震災のあった2011年は「絆」でした。

皆さんにとって今年の漢字は何でしょう。考えることで、今年1年を振り返ることができると思います。ちなみに私は返還の「還」です。また、皆さんにとって来年の漢字を何にしたいかも考えてみてください。これを考えることで来年の目標も決まってくるのではないのでしょうか。「1年の計は元旦にあり」。皆さんにとって来年の漢字が明るいものとなるよう、元旦にはぜひ何か目標を立て、その実現を目指せる1年になるよう期待します。

また、コロナの話に戻りますが、現在は一時期に比べ落ち着いてきていますが、オミクロン新変異株や第6波の流行予測などまだまだ油断できません。今まで同様気を引き締めて生活しなければなりません。

- ・ 3密を避ける
- ・ マスクの着用
- ・ こまめな換気
- ・ うがい、手洗い
- ・ 毎日の体温測定、健康チェック

「早寝早起き朝ご飯」等の規則正しい生活による免疫力アップ
普段行っていることですが、これらを守って、コロナから遠ざかる生活を送りましょう。

この冬休み、事故非行なく、コロナ、インフルエンザなく安全安心に過ごすとともに、規則正しい生活を送ってください。そして、すがすがしい気持ちで新年を迎え、そして、決意を新たにして令和4年に臨んでください。

3学期始業式、全員元気に、そして大きく成長した姿を見せてほしいものです。では、有意義な20日間を。良いお年をお迎えください。



2学期終業式意見発表

○1年1組 ○○ ○○

この意見を発表することに当たって、1学年の2学期を振り返ると、成長した点と課題の両方が見えてきました。

まず成長した点は、「チームワーク」です。様々な行事で一つのことをみんなでやり遂げたり、作り上げたりすることで、だんだんとまとまりが出てきたと思います。特に体育祭の団体競技では、各学級でどうすれば早く進めるのか、何度も話し合い、練習し、みんなが一つになったことを感じる事ができました。一つのことにまっすぐ向かって、みんなで頑張ることができる学年だなと思いました。

反省点は「主体性がないこと」です。自分も、学年全体でも、先生や人に言われて行動することが多くありました。自分から、次の行動やどうすれば早く効率よくできるかなどを考え、自分のできることを自分からやるということ、3学期は1学年全体で頑張りたいと思います。また、宿題の提出も1学年の課題です。学年全体でテストの平均点も下がってきていて、提出物は期限内に揃うことはほぼありません。進級に向けて、学習面での意識を高める3学期にしたいです。

個人的には、2学期に学級役員に挑戦したことが大きな変化だと思います。3学期は、2学期にできなかった「注意や呼びかけ」をできるように頑張りたいです。人に言うだけでなく、自分から手本となる生活ができるように、当たり前前することを当たり前前に頑張りたいです。

○2年1組 ○○ ○○

私が2学期に入って特に力を入れたことは、文化祭のえんぶりと勉強の2つです。1つ目の文化祭のえんぶりでは、昨年と違い、地域の方々がコロナウイルス感染拡大防止のため、9月に指導に來れない状況でした。そのため、2年生が中心となって教える立場になりました。最初、動きなどを教える時はとても難しいことだと思いました。そこで効率よく教えるため、グループに分けてやりました。コロナウイルス青森県緊急対策パッケージも明け、地域の方々もおいで下さるようになり、細かい振りなどを教えてもらいました。2年生だけで教えることは苦勞することもありましたが、文化祭本番で全員が一体となって踊ることができて、とてもうれしかったです。

2つ目は勉強です。勉強では、1年生の時に希望式で発表した目標に向かって頑張りました。自分は数学が苦手な教科なので、特に力を入れました。ですが考査では自分の思うような点を取ることができませんでした。そのため、次の考査ではスキルを何回も解き、先生に分からない問題を聞いたりしたいと思います。

最後に2年生の生活もあとわずかになりました。次は3年生、最高学年になります。最高学年に上がる準備を2年生が終わる時までしっかりと行いたいと思います。3年間で悔いの残らない生活をしたいと思います。

○3年2組 ○○ ○○

僕たち3年生にとって、中学校生活最後の2学期が今日で終わります。この2学期には大きな行事がたくさんあり、3年生全員で力を合わせて成功させてきました。

まず、体育祭では、リーダーが夏休みを返上して応援合戦の内容を考え、制作係が軍の旗を作りました。そして、夏休みの最後にはクラス全員でダンスを覚え、1、2年生に教えられるようになりました。3年生全員がリーダーとなり、試行錯誤を繰り返しながらも、短い準備期間の中でそれぞれの軍らしい応援を完成させることができました。大接戦の中で、最後まであきらめずに勝負することができたことも思い出の一つです。

2つめは学年合唱です。最初は男女の声のバランスが悪く、みんなの心も合唱に向かっていませんでした。しかし、話し合いをし、合唱の意義を「全員の心を一つにして歌うこと」と決めた時から、みんなが変わり始めました。帰りの会や昼休みにも練習を重ね、本番では先生方に「感動した」と言っていただけのほどの合唱を作ることができました。

最後は文化祭の演劇です。舞台班と制作班に分かれ、一つの舞台を作ることになりました。主要な役だけではなく、様々な役を演じてくれる人がいたこと、大道具、小道具、衣装などを作ってくれた人がいたこと、それぞれが自分の役割を果たし、一つになったからこそ、創り上げることができた劇でした。文化祭を通して、仲間の大切さや、一人ではできないことも、たくさんの人の力を結集することで成し遂げることができることを再認識しました。3学年が大きな輪となることができた文化祭でした。

中学校生活も残り二か月半。そのうち、学校に來る日は40日です。一刻一刻と入試の日が近づいています。たくさん悩みながら、自分で決定した進路の実現に向けて、この冬休みは苦手な教科にとことん向き合い、誘惑に負けずに勉強に取り組む冬にしたいと思います。また、学年の仲間全員の進路実現を目標に、「受験は団体戦だ」という意識をもって、3学年全員で頑張っていこうと思います。